

令和3年度
卒業生向けアンケート調査
結果報告書

令和3年8月

新潟工業短期大学

広報・就職支援センター 就職支援室

目 次

I. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査時期	1
4. 調査内容	1
5. アンケート回収状況	1

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付いたか	2
(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか	4
(3) 社会に出てから取得した資格	4
(4) 学生生活全般について有意義だったか	4
(5) 本学を勧めたいと思うか	5
(6) 本学に対しての意見	5

III. おわりに	5
-----------	---

1. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的

新潟工業短期大学の授業カリキュラムの充実を図るため、本学の卒業生を対象に、本学で身に付いた事柄やその程度、教育内容で強化すべき分野等を調査した。

2. 調査対象及び調査方法

卒業して3年目（平成31年3月卒業）の者に対して、卒業時採用企業に在籍している者は企業経由でアンケートを渡し、事前に退職が確認された者は実家住所に送付した。

対象者数67名

3. 調査時期

令和3年7月

4. 調査内容

(1) 授業他の下記8項目について、どの程度本学で身に付いたか

- ①仕事に必要な各種の資格
- ②仕事に必要な知識や基礎学力
- ③仕事における職務遂行能力
- ④協調性・コミュニケーション能力
- ⑤責任感・粘り強さ・誠実性
- ⑥パソコン操作等のスキル
- ⑦キャリアデザイン
- ⑧全体的

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（下記9項目）

※複数回答

- ①文科系（哲学・文学など）、②社会系（会計学・経済学）、③自然系（数学、物理学）
- ④専門科目A（教室での講義）、⑤専門科目B（実験・実習）、⑥幅広い教養（国際・情報・環境・人間など）、⑦社会常識（挨拶・礼儀作法）、⑧自動車整備士以外の資格、⑨その他

(3) 社会に出てから取得した資格

(4) 学生生活全般について有意義だったか

(5) 身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うか

(6) 本学に対しての意見

5. アンケート回収状況

回答者数：31名（回答率46%）

※退職者数：13名

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付けたか

① 仕事に必要な各種の資格

仕事に必要な資格が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」が30%だった。また、「まあまあ思う」が61%と一番高く9割以上の卒業生から「仕事に必要な資格が身に付いた」と回答が得られた。反面「どちらとも言えない」が3%、「思わない」が6%の回答だった。(図1)

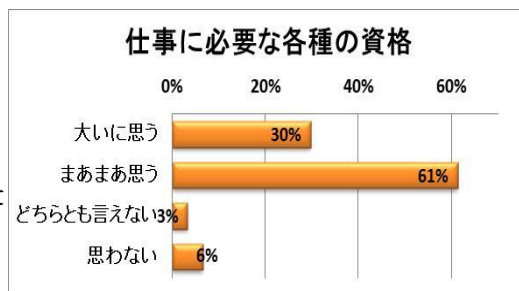


図1 資格が身に付いたかに対する回答

② 仕事に必要な知識や基礎学力

仕事に必要な知識や基礎学力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が36%、「まあまあ思う」が45%となっている。また、「どちらとも言えない」とする割合は16%、「思わない」とする割合は3%であった。(図2)
昨年も8割の卒業生から「仕事に必要な知識や学力が身に付いた」という回答が得られたが「大いに思う」が13%上昇した。(昨年23%)

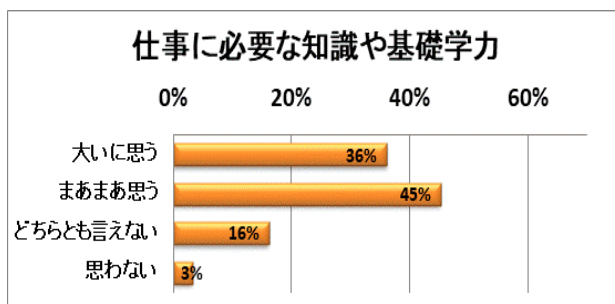


図2 知識、学力が身に付いたかに対する回答

③ 仕事における職務遂行能力

仕事における職務遂行能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が29%、「まあまあ思う」が42%で7割の卒業生から「仕事における職務遂行能力が身に付いた」という回答を得たが「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合は23%、6%であった。(図3)
「わからない、身に付いたと思わない」とする約3割を留意する必要がある。

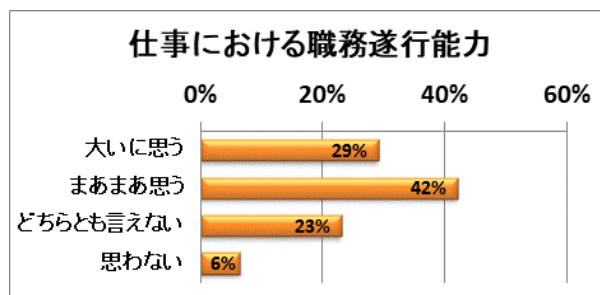


図3 職務遂行能力が身に付いたかに対する回答

④ 協調性・コミュニケーション能力

協調性・コミュニケーション能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が32%、「まあまあ思う」が52%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ10%、6%である。(図4)

8割以上の卒業生から「協調性・コミュニケーション能力が身に付いた」という回答を得ることができた。そして昨年より10%上昇した。

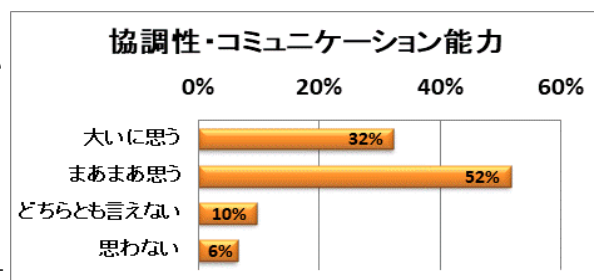


図4 協調性・コミュニケーションが身に付いたかに対する回答

⑤責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が29%、「まあまあ思う」が39%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ29%、3%である。(図5)、約7割の卒業生から「責任感・粘り強さ・誠実性」が身に付いたという回答が得られている。

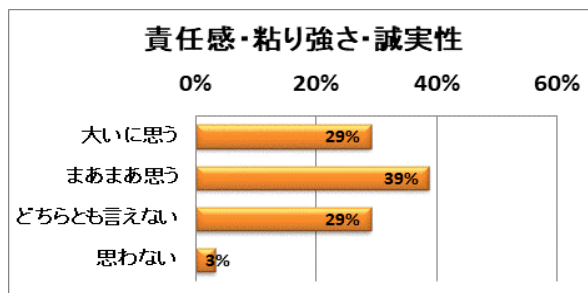


図5 責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかに対する回答

⑥パソコン操作等のスキル

パソコン操作等のスキルが身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が10%、「まあまあ思う」が39%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ41%、10%である。(図6)、約5割の卒業生より「パソコン操作等のスキルが身に付いた」という回答が得られた。昨年+13%上昇。「身に付いたと思わない」とする回答も昨年26%から今年は10%と改善した。しかし「わからない」という学生のポイントも高いので留意する必要がある。

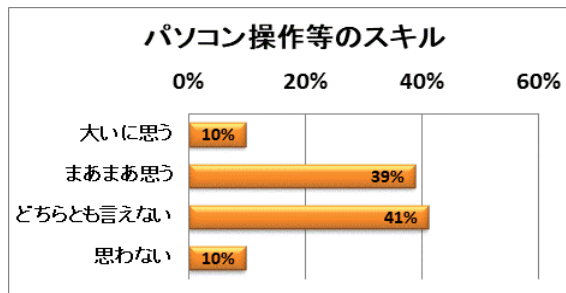


図6 パソコン操作等のスキルが身に付いたかに対する回答

⑦キャリアデザイン

キャリアデザインが役に立ったかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が26%、「まあまあ思う」が52%となっている。「どちらとも言えない」が22%、「思わない」とする学生は今回はいなかった。(図7)、8割弱の卒業生から「キャリアデザインが役に立った」という回答が得られた。

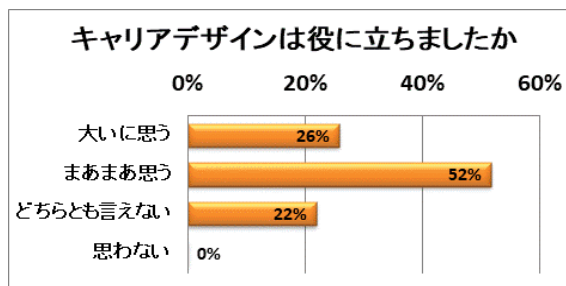


図7 キャリアデザインが役に立ったかに対する回答

⑧全体的

本学で学んだことは全体的にどの程度仕事の役に立っているかについて4段階で尋ねたところ「大いに思う」とする割合が19%、「まあまあ思う」が52%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ26%、3%である。(図8)7割の卒業生から「本学で学んだことは仕事の役に立っている」という回答が得られたが昨年より10%弱下げてしまった。

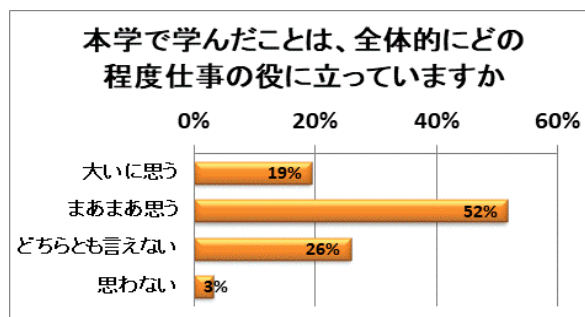


図8 本学で学んだことは仕事の役に立っているかに対する回答

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか

今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（複数回答）について尋ねたところ、「専門科目B（実験・実習）」が61%で最も高く、次いで「社会常識（挨拶・礼儀作法）」52%だった。以下、「専門科目A（教室での講義）」が19%、続いて同じく「幅広い教養（国際・情報・環境・人間等）」19%の順となっている。（図 9）

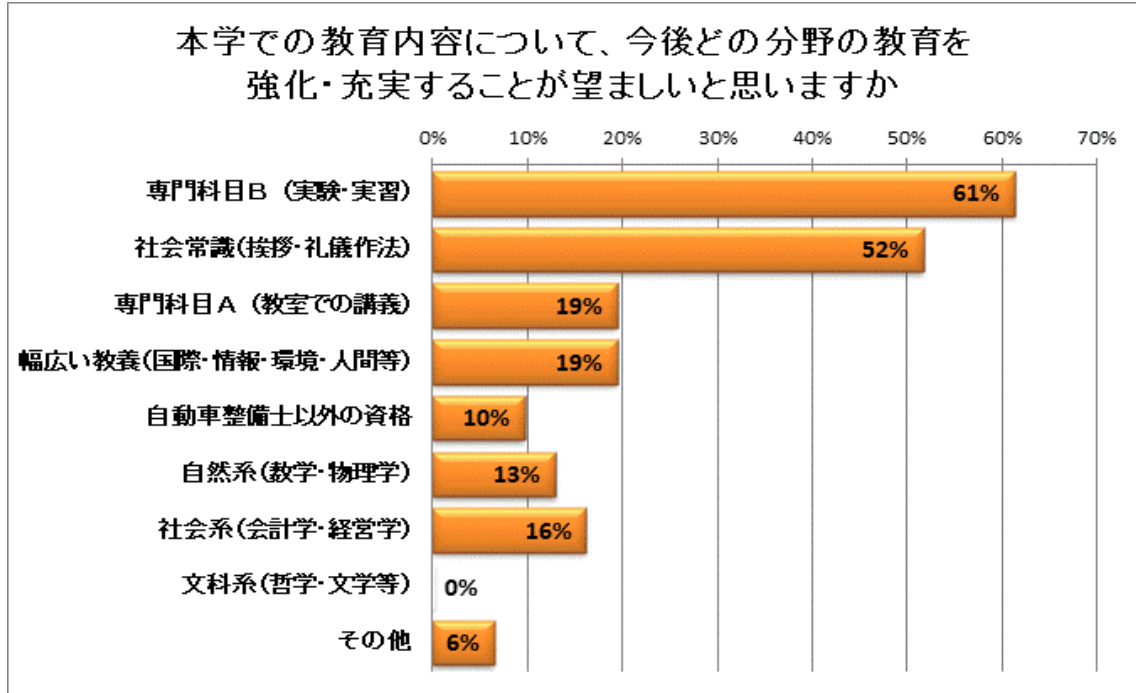


図 9 どの分野の教育を強化・充実することが望ましいかに対する回答（複数回答）

(3) 社会に出てから取得した資格

社会に出てから取得した資格について尋ねたところ、運転に関する免許は「中型自動車」(5)、「大型自動車」(1)、「準中型自動車」(1)、「大型特殊」(1)、「普通自動車」(1)、フォークリフト(1)、整備に関する資格は「自動車保険」(1)、「社内資格」(2)、「玉掛け」(2)、「第2種電気工事士」(1)、「安全衛生責任者」(1)、「検査員」(1)、「特定化学物質」(1)、「フルハーネス」(1)であった。

※（ ）内は人数

(4) 学生生活全般について

学生生活全般が有意義だったか5段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が49%、「まあまあ思う」が42%となっている。「どちらかといえばそう思う」が6%であり9割以上の卒業生が「学生生活全般が有意義だった」と回答している。（図 10）

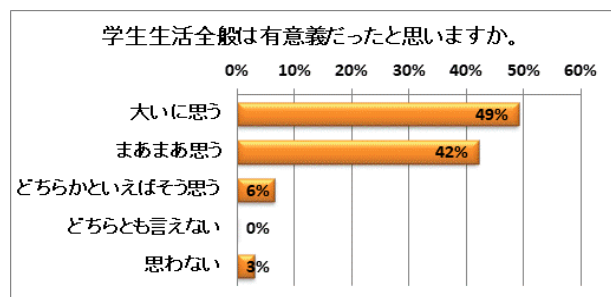


図 10 学生生活全般について有意義だったかに対する回答

(5) 本学を勧めたいと思うか

身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うかについて5段階で尋ねたところ、「ぜひ勧めたい」が9名、「一応勧めてみる」が10名、「紹介程度ならする」が9名となっている。(図 11)

※只今、お友だち紹介キャンペーン展開中

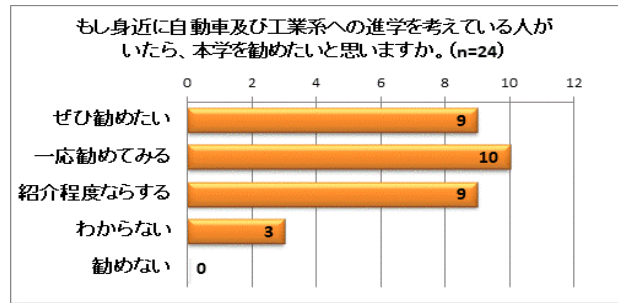


図 11 本学を勧めるかに対する回答

(6) 本学に対しての意見

- ・ 先生方のおかげで気持ち良く仕事ができています。(武田)
- ・ 新入社員をください。(菊田)
- ・ 今後も学びやすい居心地の良い学校づくりを宜しくお願いします。(近藤)
- ・ 2年という限られた時間ですが12ヶ月法定点検や車検、電気関係はもう少し時間を取ってもよいと思います。

III. おわりに

卒業生向けアンケートは毎年実施しており今後も継続して実施する予定である。昨年度の結果と比較して今年度の傾向に顕著な差は見当たらないが、全体的に満足度が得られているようである。中でも毎年「⑥パソコン操作等のスキル」が低い傾向にある中、今回の回答を見ると「身に付いたと思わない」とする回答が10%で(昨年26%)、「身に付いた」という意見も約50%(昨年36%)で改善傾向にある。今後も教育の中でパソコンに触れる機会を設けて身に付けさせる工夫が必要と思われる。また「(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか」の問いに、やはり「専門科目B(実験・実習)」が毎年高い水準になっている。また「社会常識(挨拶・礼儀作法)」のポイントも高く、また「幅広い教養(国際・情報・環境・人間等)」のポイントも上昇した。

これからは高い技術力と常識・教養などを授業に生かして多くの卒業生の満足が得られる大学を目指して取り組むことが望まれる。

令和3年8月20日
新潟工業短期大学
広報・就職支援センター 就職支援室